



なかつか 亮

まちづくり計画へのパブリックコメントが始まりました

区の説明不足に不満続出

住民合意の無い 道路・沿道高度化は中止を

[illegible]

意見募集について品川区は「区民生活に広く影響を及ぼす計画を決定するときに、区民意見を考慮して決定する制度（要綱より抜粋）」と説明します。

品川区は「品川区まちづくりマスタープラン（素案）」の策定にあたり、11月11日より区民意見募集（パブリックコメント）を開始。住民からは「住民への説明不足」「形ばかりの意見聴取だ」との不満が相次いでいます。

この素案には、問題の都市計画道路29号線や31号線など6路線の道路整備や沿道開発の推進が明記。地域では計画中止を求める署名運動も始まりました。

ところが意見募集と
言いながら区は、計画
説明を「広報しながわ」
に掲載するぐらい。内
容不明では区民は意見
を出しようがなく、意
見の提出も毎回20件前

11月11日付「広報しながわ」。概要説明には一言も道路計画がありません。知らせたくない思惑があるのでしょうか？

後と低迷しています。それでも区は「区民意見は聞いた」と計画決定を進めているのです。

立ち退き迫る計画

今回の意見募集は新たな道路作りや沿道開発を含むもの。道路整備で住民に立ち退きを迫り、沿道開発で街が変貌する大きな計画にも関わらず「広報しな

がわ」での説明は、概要のみの掲載。具体的な道路計画はひと言もありません。裏へ



道路整備後のイメージ図
素案P85に紹介されています

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載
フェイスブック始めました ほぼ毎日更新中！ 気軽に「友達リクエスト」の送信を

これでは意見募集とは形ばかりです。「これからの街づくり」というのであれば、区民への丁寧な計画説明と合意は大前提。共産党は区議会で、繰り返し住民説明会の開催を求めましたが区は「策定委員に区民公募枠を作った」「委員会は公開してる」「資料はホームページに掲載済み」「地域センターなどでも閲覧できる」と答弁



10日に開催された品川区まちづくり講演会

し、説明会の開催を拒んでいます。

区民意見募集（パブリックコメント）と位置づけながら、住民への内容説明を拒むとは「計画が住民に伝わる前に決定したい」との思惑があるのでしょうか。それとも「住民の意に反する計画」だと区が自覚している表れでしょうか。どちらにせよ住民自治に反します。街づくりの主役は区長ではなく、そこで生活する住民です。

まちづくり講演会

意見募集に先だち10日、区役所講堂にて区主催の「まちづくり講演会」が開催されました。講演会では区長挨拶の後、策定委員長（越沢明・北海道大学大学院教授）より基調講

演。委員長より「この計画は29号線の整備が最大のテーマ」「品川区の学校は、どこも救急車も消防車も入れない。これで震災時にどうするのか」と都市計画道路の整備を強調。区より地域ごとの計画案が説明されました。

参加者からは「学校に緊急車両が入れないとは嘘だ。品川のまちを理解していない学者が机上で作った計画を住民に押し付けるとは許せない」「講演会の開催そのものが住民に知らされていない。あまりに乱暴だ」との感想がよせられました。住民合意の無い計画は白紙に戻し、防災に強い街づくりは住民参加を位置づけて進めるべきです。なかつか亮

右のマンションは「品川区まちづくりマスタープラン素案」の86ページで「都市計画道路沿道の整備の具体化にあわせた防災まちづくりの推進」で区が紹介する高層マンション。備考欄に「補助29号線の参考となる豊島区の事例」との説明が付いています。

講演会では「沿道高度化とは一言も言っていない」と説明がありました。これは消防法では高層建築物を「高さ31m（約10階建て）を超える建築物」と定義され、この基準では高層建築物ではないということ。低層住宅街の住民にとっては、高層建築物そのものです。



「都市計画道路整備にあわせた住宅共同化の先行事例」と紹介 素案P86に掲載

反対署名は11月26日の建設委員会で審査される予定。詳しくは区議控室にご連絡下さい。